

# 施策分析シート（平成20年度）

No1

<b>施策名</b>	小児医療の充実	<b>施策No</b>	03-05	<b>部課名</b>	健康部生活衛生課		
				<b>課長名</b>	青山敏郎	<b>内線</b> 437	
<b>関連部課名</b>	健康部健康推進課、保健予防課						
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	子育て教育都市[ ]					
	<b>政策</b>	子育てしやすいまちの形成[03]					
<b>目的</b>	小児初期救急医療体制を確保し、病状が急変しやすい子どもの医療の充実を図る。						
<b>指標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>					<b>指標に関する説明</b>
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (28年度)	
	平日準夜間小児初期救急医療受診者数	-	4.4人	3.8人	4.1人	-	1日あたりの平均受診者数
<b>現状と課題（指標分析）</b>	小児救急医療体制の整備により、確実な医療体制を確保し安心して子育てができる環境づくりを進める必要がある。						
<b>今後の方向性</b>	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》  初期救急医療としての機能を分担し、二次・三次救急病院がその本来の機能を円滑に遂行できるよう、保護者や区民に対する広報を実施していく。						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	次世代を担う子どもの疾病に対応するために、医療体制の整備は重要な施策である。

# 施策分析シート（平成20年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		18年度	19年度	前年度 設定	今年度 設定	
準夜間小児初期救急医療 事業費	07-01-03	46,552	23,939	推進	推進	症状が急変しやすい子どもの健康を守る事業として欠かせない事業である。
妊娠中毒症等医療給付事務	07-02-30	393	416	継続	継続	妊産婦の死亡や未熟児等の発生を予防するため必要な事業であり引き続き実施する。
未熟児養育医療給付	07-02-31	5,942	18,200	継続	継続	未熟児の死亡率を低下させるため重要な事業である。
小児慢性疾患医療費助成	07-02-35			継続	継続	小児慢性疾患に罹患している児童等の療養支援のため必要な事業である。
育成医療給付	07-03-15	2,708	925	継続	継続	身体に障がいのある児童の自立を支援するため必要な事業である。
療育医療給付	07-03-16	0	0	継続	継続	結核り患児童の入院費用等を助成する事業であるが申請はほとんどないため現状を維持する。
合 計		55,595	43,480			